

(送信票は不要です)

高齢者・障がい者サービス取組の現状に関するアンケート

調査票

図書館名	回答者 職・氏名
分館名	連絡先 電話番号

調査票の質問事項について、別添のエクセルシートに回答を入力し、メールで返信ください。
データでの回答が難しい場合は、該当するものの番号に○印をご記入の上、FAX で送信ください。
「その他」(ほか)記述が必要な回答は、記入欄にお願いします。

※印を付した語は、用語解説で説明しています。

93

【A 図書館(室)の基本情報について】

- 1 市町村区分
① 市 ② 町村
- 2 人口規模 (平成 28 年 3 月末現在)
① 5 千人未満 ② 5 千人以上 1 万人未満 ③ 1 万人以上 3 万人未満
④ 3 万人以上 6 万人未満 ⑤ 6 万人以上 10 万人未満
⑥ 10 万人以上 15 万人未満 ⑦ 15 万人以上

- 3 図書館・図書室の別
① 図書館 ② 公民館図書室等

- 4 運営主体区分
① 地方自治体 ② 一部委託 ③ 委託 ④ 指定管理者
⑤ その他 (運営主体者名:)

- 5 施設の形態
① 独立施設 ② 複合施設

【B 環境(施設・資料等)の整備について】

- 1 誰でもが利用しやすい環境(施設・資料等)の整備を行っていますか。
① はい → 次の 2 以下の質問にご回答ください。
② いいえ → 【C 高齢者サービスについて】の質問へお進みください。

- 2 施設・設備について、どのようなものを整備していますか。(複合施設の場合は、施設で整備しているもので可)【複数回答可】

- ① 障がい者用駐車場
- ② 点字ブロック
- ③ 誘導チャイム※1
- ④ 点字案内板(表示)
- ⑤ 分かりやすい案内サイン(ピクトグラム※2など)
- ⑥ 音声ガイド
- ⑦ 多目的トイレ
- ⑧ 段差のないフロア
- ⑨ 貸出車椅子
- ⑩ 車椅子が通れる書架スペースの配慮
- ⑪ 車いす用閲覧席
- ⑫ 対面朗読室
- ⑬ 録音図書再生機
- ⑭ 録音室
- ⑮ 活字文書読み上げ装置(音声読書機)
- ⑯ 拡大読書器
- ⑰ 音声パソコン※3
- ⑱ ウェブアクセシビリティ※4の配慮
- ⑲ 老眼鏡・拡大鏡
- ⑳ エレベーター
- ㉑ スロープ
- ㉒ 階段昇降機
- ㉓ その他()

- 3 B-2 で㉔ウェブアクセシビリティの配慮をしていると回答した館におたずねします。どのような対応をしていますか。【複数回答可】

- ① 自館のホームページに配慮している
- ② 自治体のホームページ内に図書館のページがあり、自治体のページ全体で配慮している
- ③ 館内の利用者用インターネット端末に配慮している
- ④ その他()

- 4 どのような資料を整備していますか。【複数回答可】

- ① 点字図書
- ② 大活字本
- ③ 拡大写本
- ④ 録音(音訳)図書(CD・カセット等)

4 D-2 で④点訳資料の作成を行っていると同答した館のみお答えください。どんな資料を点訳する対象としていますか。【複数回答可】

- ① 図書館所蔵資料 ② 個人の持ち込み資料
③ その他 ()

5 D-2 で④点訳資料の作成を行っていると同答した館のみお答えください。点訳作業を行うのはどなたですか。【複数回答可】

- ① 図書館職員 ② ボランティア
③ その他 ()

6 障がい者サービスはどのような方法でPRをしていますか。【複数回答可】

- ① 図書館案内パンフレットに掲載 ② 障がい者サービスのパンフレット
③ チラシ ④ 図書館ホームページに掲載 ⑤ 市町村広報に掲載
⑥ 地域の回覧板 ⑦ 特になし
⑧ その他 ()

7 障がい者サービスに関して、どのような機関とつながりがありますか。【複数回答可】

- ① 社会福祉協議会 ② 障がい者施設 ③ 病院 ④ 障がい者関連団体
⑤ 特別支援学校・学級 ⑥ 点字図書館 ⑦ 市役所・役場の福祉担当部署
⑧ 特になし
⑨ その他 ()

55

【E 対面朗読について】

C-2 で⑥対面朗読、D-2 で④対面朗読を行っていると同答した館のみ、次の1～5にお答えください。

1 対象となる利用者はどなたですか。【複数回答可】

- ① 制限なし ② 障害者手帳をもつ方 ③ 高齢者
④ その他 ()

2 どんな資料を対面朗読する対象としていますか。【複数回答可】

- ① 図書館所蔵資料 ② 個人の持ち込み資料
③ その他 ()

3 対面朗読に対応する頻度はどれくらいですか。

- ① 申し出があれば随時実施 ② 定期的に実施 (頻度:)
③ その他 ()

4 時間制限はありますか。

- ① なし ② あり

5 対面朗読を行うのはどなたですか。【複数回答可】

- ① 図書館職員 ② ボランティア
③ その他 ()

5

【F 録音 (音訳) 資料の作成について】

C-2 で⑦録音 (音訳) 資料の作成、D-2 で②録音 (音訳) 資料の作成を行っていると同答した館のみ、次の1～3にお答えください。

1 対象となる利用者はどなたですか。【複数回答可】

- ① 制限なし ② 障害者手帳をもつ方 ③ 高齢者
④ その他 ()

2 どんな資料を音訳の対象としていますか。【複数回答可】

- ① 図書館資料 ② 個人の持ち込み資料
③ その他 ()

3 音訳作業を行うのはどなたですか。【複数回答可】

- ① 図書館職員 ② ボランティア
③ その他 ()

【G 拡大写本の作成について】

C-2 で⑧拡大写本の作成、D-2 で③拡大写本の作成を行っていると同答した館のみ、次の1～3にお答えください。

1 対象となる利用者はどなたですか。【複数回答可】

- ① 制限なし ② 障害者手帳をもつ方 ③ 高齢者
④ その他 ()

2 どんな資料を写本の対象としていますか。【複数回答可】

- ① 図書館資料 ② 個人の持ち込み資料
③ その他 ()

3 写本作業を行うのはどなたですか。【複数回答可】

- ① 図書館職員 ② ボランティア
③ その他 ()

【H 郵送・宅配サービスについて】

C-2 で⑩郵送・宅配サービス、D-2 で⑦郵送・宅配サービスを行っていると同答した館のみ、次の1～4にお答えください。

1 どのような方法で行っていますか。【複数回答可】

- ① 郵送 (託送) ② 図書館職員による運搬 (宅配)
③ ボランティアによる運搬 (宅配)
④ その他 ()

2 郵送・宅配サービスの対象となる利用者はどなたですか。【複数回答可】

- ① 制限なし ② 障害者手帳を持つ方 ③ 高齢者
④ 施設入所者 ⑤ 入院患者 ⑥ 自宅療養者
⑦ その他 ()

6

3 郵送サービスに要する費用は誰が負担しますか。【複数回答可】

- ① 図書館が全額負担
- ② 利用者が全額負担
- ③ 図書館が片道負担
- ④ 利用者が片道負担
- ⑤ その他 ()

4 宅配サービスに要する費用（運搬に係る経費（交通費等）含む）は誰が負担しますか。

【複数回答可】

- ① 図書館が負担
- ② 利用者が負担
- ③ ボランティアが負担
- ④ その他 ()

【I 配慮・苦慮事項】

- 1 高齢者や障がい者に向けての対応で、配慮していること、苦慮していることがあれば、お聞かせください。

[]

66 【I 今後の展開事項】

- 1 高齢者や障がい者向けの対応・サービスで、今後、実施を考えていることがあればお聞かせください。

[]

◆ご協力ありがとうございました。

アンケート問合せ・提出先
北海道図書館振興協議会事務局
(北海道立図書館企画支援課)

TEL 011-386-8521 FAX 011-386-6906

メールアドレス：shienka@library.pref.hokkaido.jp

北海道図書館振興協議会調査研究チーム (担当 西岡)

【用語解説】

回答の参考になるよう、アンケート本文で※を付した語について解説しています。

用語	解説
誘導チャイム	建物の入り口ほか、目標となる場所に取り付け、音によって誘導する装置。盲導鈴、誘導鈴ともいう。
ピクトグラム	「絵文字」とよばれる情報や注意を示すために表示される視覚記号（サイン）。文字による文章で表現する代わりに、単純で視覚的な図で表現する。
音声パソコン	市販のパソコンに、音声ガイド機能のある視覚障がい者向けのソフトをインストールしたもの。ソフトには、ワープロソフト、ホームページ閲覧ソフト、メールソフト、墨文字書読み上げソフトなどがある。
ウェブアクセシビリティ	高齢者や障がい者など心身の機能に制約のある人でも、年齢的・身体的条件に関わらず、ウェブ（インターネット）で提供されている情報にアクセスし利用できること。
音声 DAISY	DAISY (デイジー) は Digital Accessible Information System の頭文字をとったもので、誰もが使えるデジタル資料のこと。国際標準規格。章・節・項などへの頭出しや、ページへのジャンプができる特徴がある。 音声 DAISY は、音声と目次情報だけでできている DAISY で、日本で、最も普及している。従来は、CD の形態で提供されていたが、近年はインターネットからダウンロードしてデータを入力することもできるようになっている。 視覚障がい者だけではなく、肢体障がい者やいわゆる寝たきり状態の人等、いろいろな障がい者の利用が考えられる。
マルチメディア DAISY	音声とテキストデータ（文字）と画像をシンクロ（同期）させて再生できる DAISY で、最新のものはさらに動画も再生できるようにになっている。 音声と文字と画像がシンクロしているので、発達障がい者等さまざまな障がい者が利用できる。 パソコンや専用ソフト、アプリで利用する。
LL ブック	知的障がいや発達障がいのある人などが読みやすいよう、写真や絵、絵文字、短い言葉などで構成された本。「LL」はスウェーデン語で「やさしく読みやすい」を意味する言葉の略。 当初は知的障がい者向けに刊行されていたが、現在では高齢者や移民、認知症の人など、読むことに困難を伴いがちな幅広い層へと対象が広がっている。
サビエ	視覚障がい者及び視覚による表現の認識に障がいのある方々に対して点字、デイジーデータをはじめ、さまざまな情報を提供するネットワークの名称。日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行っている。 「サビエ図書館」のホームページから、点字データ16万タイトル以上、音声デイジーデータ5万タイトル以上がパソコンや携帯電話によってダウンロードできる。また、各館が所蔵する89万タイトル以上の膨大な資料が、オンラインリンクアクセスなどによって利用できる。

	用語	解説
9	回想法	<p>高齢者の思い出に対して専門家が共感的に受け入れる姿勢を もって意図的に働きかけることにより、高齢者に人生に対する 再評価や自己の強化を促し、心理的な安定や記憶力の改善をはか る療法のこと。</p> <p>認知症高齢者では、記憶を引き出し、共感しながら心の安定を はかると同時に、懐かしい・楽しいといった思い出を蘇らせるこ とで、精神的に心地よい環境を作り出し、認知症の進行を遅らせ ようとするたり、精神的な安定をはかる。</p>
10	郵送サービス	<p>個人や施設入所者等に郵送・記送するサービス。無料で送れるも のと割引料金で送れるものがある。</p>
11	宅配サービス	<p>職員が資料を利用者の自宅まで届けるサービスのこと。その場で 資料案内・レファレンスの受付などを行なうこともできる。宅配 業者による宅配（記送）は郵送サービスに含まれる。</p>

調査研究チーム設置要項

(平成 27 年 10 月 29 日決定)

北海道図書館振興協議会

1 目的

近年、高齢者や障がい者へのサービスが必要とされていることを受け、また、障害者差別解消法の成立を踏まえ、道内市町村立図書館等での高齢者・障がい者へのサービスの実態や道外図書館の事例等について研究し、今後各館での対応の指針となる資料（報告書）を作成する。

2 調査研究を行う事項

調査研究チームは、次のことについて調査研究を行う。

(1) 高齢者・障がい者サービスに係る調査実施

道内市町村における図書館等を中心とした高齢者・障がい者サービスについて、アンケート調査を実施し、集計、分析を行う。

(2) 障害者差別解消法の成立を踏まえ、図書館に係るサービスの内容について、現状やこれからの動きについて研究、紹介する。

その他、調査研究チーム内で、活動計画を策定し、必要な研究を進める。

3 調査研究チームの委員

(1) 委員は、北海道図書館振興協議会長が指名する。

(2) 委員は、おおむね、市町村立図書館等職員 5 名、北海道立図書館職員 3 名とする。

(3) 調査研究チームに座長を置く。座長は、委員からの互選とし、調査研究チームを招集・主宰する。

4 委員の任期

委嘱又は指定した日から平成 29 年 3 月 31 日までとする。

5 調査研究の成果

調査研究チームは、調査研究の成果を北海道図書館振興協議会長に報告するとともに、市町村立図書館等に配付するほか、北海道立図書館ホームページに掲載する。

6 事務局

調査研究チームに係る事務は、北海道図書館振興協議会事務局が担当する。